

科目名	卒業研究ゼミ2（卒業必修）		
授業形態	演習	学年	2
開講時期	2023年度 前期～後期	単位数	2
担当教員	井波 純		
内容および計画	<p>各自テーマを設定し、ゼミで学んだ総決算としての研究制作を行う。発想から表現手段、作品の完成までの一貫性と作品の存在意義を考察し、現代社会に適応した漆芸作品の制作を行う。年間を通しての長期制作ではあるが、作品の完成度を高めるためにもアイデアの決定はなるべく早い時期に完了することが望ましい。</p> <p>授業計画については、下記内容を元にそれぞれの学生の進捗状況に合わせて進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発想の展開を目的としたディスカッションを行う ・ 各自が制作のアイデアを提案し、表現効果の狙いを明確にする ・ 材料等の検討と表現技法を具体化し、完成までのプランを作る ・ 各自のプランに沿って制作をすすめる ・ 完成作品について制作意図や制作方法に対するプレゼンテーションを行う 		
1	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
2	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
3	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
4	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
5	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
6	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
7	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
8	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
9	福島県総合美術展覧会作品から卒業研究に繋がる部分についての確認と指導		
10	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
11	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
12	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
13	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
14	プレ中間発表内容の確認と研究指導		
15	プレ中間発表（日時はデザイン情報コース内で決定後に指示）		
16	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
17	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
18	中間発表の為の概要確認と研究指導		
19	中間発表（日時はデザイン情報コース内で決定後に指示）		
20	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
21	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
22	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
23	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
24	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
25	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
26	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
27	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
28	研究経過報告と研究に対する個別指導（毎週）		
29	卒業研究発表内容の確認およびリハーサル等		
30	卒業研究発表後の訂正箇所について個別指導		
教科書			

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
使用しない。				
参考書	使用しない。			
成績評価				
評価方法				割合(%)
卒業制作作品（作品の完成度、制作スケジュールの管理）				50
漆芸技法の理解と研究に対する積極性				30
研究発表の内容、プレゼンテーション				20
他の分野と比較し、クラフト分野は特に実作品の仕上がりが重要です。学んだ基礎技法の理解をもとに、卒業作品の完成に向けて何をやるべきかを把握し、問題点に関して自己判断できるよう努力して下さい。				
学習到達目標	漆芸技法について理解を深めるとともに、それぞれの卒業研究テーマに応じて適した技法を選定し、地域産業や現代の生活、また、伝統文化の重要性等について言及、提案できる実作品を制作し研究発表する。それにより、卒業後の社会活動の中で工芸をキーワードとした創造から、デザインの領域や地域振興において新たな提案ができる。			
先修条件				
実務経験	実務経験 実務経験あり：素地制作から漆塗り、漆芸装飾に至るまで石川県輪島市、および東京都において実務経験を積み、漆芸作品制作を中心に活動してきた経歴も活かしながら、シラバスに沿った授業において理解を深め、より完成度の高い研究作品の制作につなげていく。			
その他				